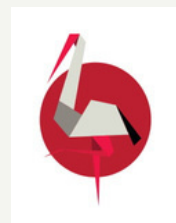


# 社会福祉法人 福田会 週次報告書

2023年10月3日 / Vol. 054



## ご支援総額

2023年9月12日までの寄付総額

126,356,310 円

寄付金使用総額

3388040.24 zł (約1億164万円)

9/11(月)～9/30(日)の期間中の寄附金使用額

8046.21 zł (約24万円)

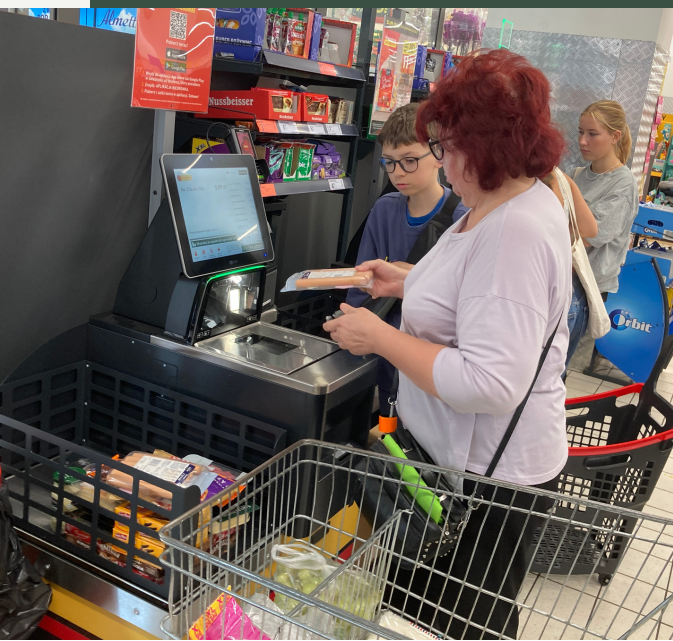
## 9月11日(月)～9月30日(日)の支援活動

### 食材支援 (毎週金曜日) ※祝日等で変動あり

一人あたり50złの予算を設け、1週間分の昼食用食材の購入を支援。

9月20日(水) 23家族が参加 合計 3035.31 zł (約10万3千円)

9月29日(金) 24家族が参加 合計 3169.45 zł (約10万8千円)



### ミサンガ作り (週二回)

本部ポーランド訪問・イベント開催のため、本報告書活動期間内はミサンガ作りをお休みさせて頂きました。



## 福田会本部によるシェルター訪問

9月24日(日)に、福田会理事長・後援会会長・ポーランド支部スタッフがクラクフ市内にあるシェルターを訪問した。(写真：一ページ目上部)  
同シェルターにはこれまでに食事の配達支援を実施しており、現在は数名が食材支援に参加している。

現在、こちらのシェルターを利用しているウクライナ避難民の数は40名ほどで、半数以上が子どもとなっている。

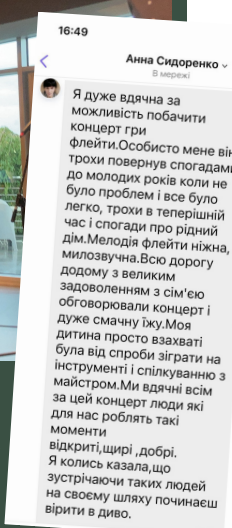
## ウクライナ避難民のための尺八コンサート

福田会で支援している避難民の方(50名)を対象に、クラクフ・マンガ館にて、尺八演奏家・入江要介氏による無料の尺八コンサートを実施。

初めて聴く日本の楽器の音色に、参加者たちは興味深そうに耳を傾けていた。

希望者による尺八の試奏も実施され、子どもたちが列を作って尺八の演奏を楽しんだ。

参加した方から、下記のようにメッセージを頂いた。



「このような貴重な機会を頂き、とても感激しています。演奏を聞いていて、何もかもが上手くいっていた若かった頃のことや、実家のことなどを思い出しました。尺八の音色はとても優しく、美しい旋律でした。

帰り道は、家族とコンサートのことや会場で頂いた美味しい食事のことを、楽しく話しながら帰りました。私の子どもは尺八の演奏に挑戦し、入江さん(尺八奏者)とのコミュニケーションに大喜びしていました。

私たちウクライナ人のためにこのような機会を設けて頂き、本当にありがとうございます。人生の旅の途中でこのような機会に恵まれることは、奇跡のようなことだと私はいつも思っています。」

## 現地の動向

Eurostat(欧州連合統計局)によると、2023年7月時点において、欧州連合(EU)加盟国には、一時保護を受けたウクライナ人が合計410万人滞在している。

現在のウクライナ人の主な受け入れ国のひとつはドイツであり、難民総数の28%(115万3865人)がドイツを拠点にしている。

2位はポーランドで97万1080人(24%)となっており、3位のチェコ共和国(35万7540人)を大きく引き離し、ドイツ・ポーランドが避難民の大部分を受け入れている。

両国の課題は、受け入れている避難民の自立支援にあり、言語・就労面での支援が課題となっている。